

平成23年行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

<b>事業名</b>	原子力人材育成プログラム委託費	<b>担当部署</b>	研究開発局	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成19年度～	<b>担当課室</b>	原子力課		原子力課長 篠崎 資志		
<b>会計区分</b>	エネルギー対策特別会計 (電源開発促進勘定)	<b>施策名</b>	X-5 原子力分野の研究・開発・利用の推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	特別会計に関する法律施行令 第51条第6項第8号	<b>関係する計画、通知等</b>	原子力政策大綱(平成17年10月原子力委員会、閣議決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	現存する原子力施設を安全に維持・運転していくとともに、より高度な安全性を追求していくためには、現場技術者から最先端の研究を実施する研究者、更には危機管理能力を有する人材まで幅広い原子力人材を継続的に育成・確保する必要がある。そのため、大学・大学院・高等専門学校における原子力分野の教育研究活動を支援し、将来の原子力分野の担い手となる優秀な人材を育成・確保する。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	「原子力研究環境整備補助事業」に関して、有識者による技術審査委員会を開催し、実施事業の事業評価を行うと共に、新規補助金交付先の選定を行う。また、良好事例の報告会、その他補助事業に関する公募・補助金申請手続きの事務を行う。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	22	21	11	10	8
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	22	21	11	10	8
	執行額	22	19	9			
執行率(%)	98.1%	90.7%	84.2%				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	<b>成果指標</b>		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	<b>【成果目標】</b> 本委託費により、将来の原子力分野の担い手となる優秀な人材を育成する「原子力研究環境整備補助事業」について、実施事業の新規採択課題の選定・事業評価等を行うとともに、報告会を開催して広く良好事例を周知し、原子力発電施設等の利用の促進及び安全の確保等に資すること。  <b>【成果実績】</b> 本委託事業において、将来の原子力分野の担い手となる優秀な人材を育成する「原子力研究環境整備補助事業」について、実施事業の新規採択課題の選定・事業評価等を行うとともに、報告会を開催して広く良好事例を周知し、原子力発電施設等の利用の促進及び安全の確保等が図られた。	成果実績					
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	<b>【活動指標】</b> 本委託事業において、新規採択課題の選定を行うとともに、全ての実施事業の事業評価を行う。  <b>【活動実績】</b> 本委託事業において、新規採択課題の選定を行うとともに、全ての実施事業の事業評価を行った。  (1)事業評価を実施した課題数 (2)新規採択を実施した課題数	活動実績	課題数	(1)21 (2)23	(1)26 (2)22	(1)34 (2)14	(1)19 (2)0
<b>単位当たりコスト</b>	(1)0.3(百万円/事業評価を実施した課題数) (2)0.7(百万円/新規採択を実施した課題数)	算出根拠	平成22年度における活動実績で、平成22年度の執行額を除いた。 (1) 9百万円 / 34課題 = 0.3百万円 / 課題 (2) 9百万円 / 14課題 = 0.7百万円 / 課題				
<b>平成23・24年度 予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	原子力研究環境整備事業選考調査	10百万円	8百万円	経費の効率化等によるコスト削減			
	計	10百万円	8百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>【目的・予算の状況】 原子力の平和利用を安全を確保しつつ推進していくために基盤となる原子力人材育成事業を支援する事業であり、国民のニーズがあり優先的に取り組むべきである。これまでも、本委託費で支援する「原子力研究環境整備補助金事業」で育成した人材が原子力関係の企業、研究所、学校等に就職しており、原子力安全の確保に貢献してきたところである。</p> <p>【資金の流れ、費目・使途】 当初の予算の措置や委託事業の目的に従った使用がされていた。</p> <p>【活動実績、成果実績】 「原子力研究環境整備補助金事業」については、平成23年度新規採択課題を選定せず、継続案件のみ実施し、本補助金事業は平成24年度で終了することとなった。このため、平成19年度からの本委託事業の成果をとりまとめるため、平成22年度から良好事例の報告会を開始したとともに、平成23年度は当該補助金で育成された人材の就職状況等の追跡調査を実施するなど、成果の周知及び定量的な評価に努めている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、現存する原子力施設を安全に維持・運転していくとともに、より高度な安全性を追求していくためには、現場技術者から最先端の研究を実施する研究者、更には危機管理能力を有する人材まで幅広い原子力人材を継続的に育成・確保する必要がある。そのため、大学・大学院・高等専門学校における原子力分野の教育研究活動を支援し、将来の原子力分野の担い手となる優秀な人材を育成・確保する事業であり、事業の効率化、契約・執行手続きの観点で検証を行った。</p> <p>2. 所見：本事業は事業内容の精査や、委託要領に基づき受託者が経済的・効率的・効果的な執行を行うように努め、経費の効率化を進めるべきである。また、分かりやすい仕様書の作成や、入札情報の公開、20日以上公告期間の確保などこれまでの取組を引き続き継続するとともに、入札仕様書の作成にあたり入札要項に定める資料提供招請、意見招請を必要に応じ実施することや、入札公告に関し新たな方法の周知を実施するなど、より多くの者が競争に参加できるよう努め、契約の公平性・透明性・競争性を確保すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
<p>予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、平成24年度概算要求においては、経費の効率化を行うことにより2百万円のコスト削減を図った。また、契約締結に関しては、引き続き契約の公平性・透明性・競争性を確保するよう努める。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

【原子力人材育成プログラム委託費】

文部科学省  
9百万円 ※1

委託費 9百万円



【総合評価入札・委託費】

A. 原子力研究環境基盤整備事業選考調査  
9百万円 ※1

財団法人エネルギー総合工学研究所

（原子力研究環境整備補助金の新規採択課題の  
選定や事業評価のための技術審査委員会の開  
催、良好事例の報告会の開催、その他公募・補  
助金申請に係る事務手続きの業務）

資金の流れ  
（資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する）（単  
位：百万円）

※1 国側の数字は国の決算額、受託者側の数字は受託者の決算額（実績報告書ベース）であることから両者の額が一致しないことがある。

A.(財)エネルギー総合工学研究所			E.		
費目	使 途	金 額※1 (百万円)	費目	使 途	金 額※1 (百万円)
人件費	業務担当職員	4			
業務実施費	印刷製本費	1			
	国内旅費	1			
	諸謝金	1			
	会議費開催、雑役務費、消費税相当額	1			
一般管理費	直接経費の20%	2			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額※1 (百万円)	費目	使 途	金 額※1 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額※1 (百万円)	費目	使 途	金 額※1 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額※1 (百万円)	費目	使 途	金 額※1 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

※1 国側の数字は国の決算額、受託者側の数字は受託者の決算額(実績報告書ベース)であることから両者の額が一致しないことがある。

## 支出先上位10者リスト

### A.原子力研究環境整備事業選考調査

	支出先	業務概要	支出額※1、3 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)エネルギー総合工学 研究所	原子力研究環境整備補助金事業の実施に係る支援	9	1	※2

※1 国側の数字は国の決算額、受託者側の数字は受託者の決算額(実績報告書ベース)であることから両者の額が一致しないことがある。

※2 同種他の契約の予定価格を類推させるおそれがあるため非公表としている。

※3 表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げとは一致しない